

# 岐阜農林事務所農業普及課の普及活動状況

平成23年10月31日現在

## 今月の重点活動

### ■ (えだまめ栽培研修会開催)

・えだまめ栽培を開始して間もない営農組織や新規作付け希望者など約25名を対象に10月3日に栽培研修会を開催した。育苗管理、害虫防除、防虫ネット栽培、GAPの取り組みを説明するとともに、防虫ネット実証展示ほ場において現地指導を行った。この他、後期作型の現地検討会を9月30日に開催し、生産者や全農、JA等関係機関とこれまでの生育状況や出荷予測についての情報報交換を行った。



【写真】栽培研修会の様子

### ■ (アスパラ塾開催)

・塾生と関係者20名が集まって第2回アスパラ塾が9月30日に開催された。今回は「育苗から定植までの行程」と「自分でハウスを立てる」を「テーマに農業普及課からは育苗と定植の作業ポイントについて詳しく説明し、理解を図った。また、資材業者からは初期投資削減策のためのハウス建設方法について情報提供を行った。

塾生からは活発に質問が出され、アスパラ栽培に向けての意欲が伺え、有意義な塾となった。



【写真】第2回アスパラ塾の様子

## 主要農作物の生産振興

### ■小麦 (岐阜県麦作共励会最優秀賞決定)

安藤重夫氏(本巣市)が23年度岐阜県麦作共励会の農家の部で最優秀賞に決定し、東海・近畿ブロック麦作共励会においても1位通過し、全国中央審査への推薦が決定した。

### ■いちご (JAぎふいちご塾支援)

いちご新規就農者の育成確保のため、JAぎふと農業普及課では、8月からいちご塾を開催している。9月に入り塾生が3名増え、いちごの栽培方法についての講義や定植作業やマルチ張りなどの実習にも熱心に取り組んでおり、農業普及課も技術指導の支援を行っている。

【写真】現地研修会の様子



### ■ブロッコリー (良品出荷に向けた作業実施中)

充実した株づくりのため、現在、追肥や中耕培土等が行われおり、適期作業を指導している。しかし台風による定植遅れや気温が低く推移しているため、昨年より出荷開始が遅れる模様(本格出荷は11月10日以降か、昨年は10/27～)

今年度から新規導入した羽島市では現地研修会を開催し、生育状況を確認しながら、管理ポイントを指導した。



【写真】現地指導の様子

## ■かき **かきの出荷始まる！**

管内の各柿選果場では、10月3日の本巢市を皮切りに本格稼働を開始し、出荷が始まった。期待の新品種「早秋」は、軟果が多いものの高値2,500～2,700円/3.5kgとまずまずの単価で推移した。一方「太秋」は、糸貫選果場の初値の高値が4,000円/3.5kgと非常に高い評価を受け、今月下旬まで出荷は続く。

「早生富有」は10日頃から収穫が始まったが、遅れていた着色も平年並みに近づいているものの、小玉傾向でL・M中心となっている。

農業普及課では病虫害指導、選果指導等を行い、産地ブランドの向上に努めている。



【写真】 糸貫選果場 早生富有目揃い会

## 担い手の育成・確保

### ■集落営農組織・営農組合 **(方県地区担い手対象にぎふクリーン農業研修会開催)**

今年4月に設立された方県水田農業担い手協議会において、9月22日にぎふクリーン農業についての研修会を開催し、農業普及課から米で取り組む場合のポイントを説明した。その後、堆肥を使った栽培方法やJA荷受の必要性等、様々な意見交換を行った。生産登録するまで課題は多いが、農業普及課として今後も支援を行ってゆく。

### ■女性起業組織活動 **(柿のシーズン到来！加工にも拍車)**

瑞穂市柿振興会女性部「柿りん」では、本格的な柿の収穫を前に柿ジャムの製造が行われ、今後、開催される各種イベントでも販売を予定している。農業普及課では組織活動に際し、加工計画、情報発信等に関する支援を行っている。

## 地域の動き等

### ■岐阜市 **(園芸塾継続中)**

直売所出荷者の増加に向けてJAぎふ主催の園芸塾が開催され、農業普及課も支援を行っている。なお、三輪地域では来年3月末に3支店が統合し、直売所が併設される計画となっており、園芸塾生に対して3月出荷用のはくさい、キャベツ、ブロッコリーの苗が配布された。

### ■農業体験学習指導 **(一般消費者の稲刈り体験を実施)**

10月8日、アイガモ稲作研究会と千代菊が連携して、羽島体験プロジェクト「米から酒までマイブランドを作る」の稲刈り体験が実施された。当日は、約100名の親子が参加、アイガモ稲作圃場で手刈りを体験した。農業普及課では、手刈りのやり方、注意点等について説明を行い、体験教室の開催支援を行い、安全に稲刈り体験が進められた。



【写真】 稲刈り収穫体験の様子

### ■本巢市 **(かき新選果場稼働)**

9月29日、JAぎふ糸貫選果場竣工式が執り行われ、新選果場として生まれ変わり10月3日から本格稼働した。新選果機はフリーレイ式で糖度センサーを導入し、糸貫のかきのより一層のブランド化を図っていく予定。

総工費約8億円（市補助約4千万円）。



【写真】 糸貫選果場の新選果機